

人間社会学部／総合人間社会コース	職名	准教授	氏名	中原 雄一
------------------	----	-----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

運動やスポーツ活動を含めた身体活動の重要性について研究を行っており、青年期を中心に幼児から勤労者まで幅広く検討している。また、健康運動指導士やジュニアスポーツ指導員、健康経営エキスパートアドバイザー等の資格を活かし、運動指導や助言なども行っている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 中原雄一、神藤隆志、北濃成樹、永田康喜、植木貴頼、具志堅武、永松俊哉、鈴川一宏（2023）男子高校生の1年次初期段階におけるスポーツクラブ活動状況と身体組成および体力の関連：中学時代の活動状況を考慮した検討。運動とスポーツの科学, 29(1): 85-93.
- ・ Jindo T, Kitano N, Nagata K, Nakahara-Gondoh Y, Suzukawa K, Nagamatsu T. (2023) Correlates of early attrition from school sports clubs in male senior high school students: a 2.4-year follow-up study. *Frontiers in Sports and Active Living*, section Sport Psychology Vol. 5.
- ・ 神藤隆志、北濃成樹、永田康喜、中原（権藤）雄一、鈴川一宏、永松俊哉（2023）質問紙で調査した福岡県の私立男子高校生の身体活動。運動疫学研究, 25(1): 124-125.
- ・ 田中美樹、吉川未桜、吉田麻美、中原雄一、杉野寿子、池田孝博（2023）新型コロナウイルス感染症拡大による入院中の子どもを支える上での看護師と保育士の困難感。福岡県立大学人間社会学部紀要, 31(2): 85-93.
- ・ 田中美樹、吉川未桜、吉田麻美、中原雄一、杉野寿子、池田孝博（2023）入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働：第1報。福岡県立大学看護学部紀要, 20: 9-20.
- ・ 吉川未桜、田中美樹、吉田麻美、中原雄一、杉野寿子、池田孝博（2023）入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働：第2報。福岡県立大学看護学部紀要, 20: 21-32.
- ・ Nakahara-Gondoh Y, Tsunoda K, Fujimoto T, Ikeda T. (2022) Effect of encouraging greater physical activity on number of steps and psychological well-being of university freshmen during the first COVID-19 related emergency in Japan. *Journal of Physical Education and Sport*, 22(10): 2598-2603.
- ・ 杉野寿子、吉川未桜、田中美樹、吉田麻美、池田孝博、中原雄一（2022）入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題。福岡県立大学人間社会学部紀要, 31(1): 71-79.
- ・ 中原雄一、池田孝博（2022）コロナ禍における大学新入生の歩数と精神的健康度の実態：2020年度と2021年度で相違はみられるのか。大学体育スポーツ学研究, 19: 94-99.
- ・ 池田孝博、中原雄一（2021）コロナ禍での緊急事態宣言下における福岡県立大学新入生の健康状態とその関連要因。福岡県立大学人間社会学部紀要, 30(1): 191-199.

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 大西栄理、中原雄一、池田孝博（2023）幼児期における一過性の運動介入における実行機能の変化。九州体育・スポーツ学会第72回大会（大分）

- ・ 中原雄一、角田憲治、藤本敏彦（2023）大学生における入学時の体力レベル別にみた精神的健康度の縦断的变化：4年間の追跡調査．日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会（京都）
- ・ 藤本敏彦、中原雄一（2023）高等学校における体育実技授業の実態調査：高等学校教員を対象としたアンケート調査から．日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会（京都）
- ・ 神藤隆志、北濃成樹、永田康喜、中原雄一、具志堅武、鈴川一宏、永松俊哉（2023）男子高校生における運動部活動の早期離脱と学校生活ウェルビーイング、ストレス対処力の縦断的関連．日本体育・スポーツ・健康学会第73回大会（京都）
- ・ 中原雄一、神藤隆志、北濃成樹、永田康喜、植木貴頼、永松俊哉、鈴川一宏（2022）運動・スポーツ活動参加の違いが男子高校生における体力および体組成に及ぼす影響—中学時代と現在の参加状況からの検討．第77回日本体力医学会大会（オンライン）
- ・ 中原雄一、角田憲治、藤本敏彦（2022）大学入学時の体力レベル別にみた精神的健康度の変化：入学時から卒業間際にかけての追跡研究．日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会（千葉）
- ・ 藤本敏彦、中原雄一、坂本譲、西脇雅人、島本英樹、黒川修行（2022）高等学校における体育実技授業の実態調査：大学生を対象としたアンケート調査から．日本体育・スポーツ・健康学会第72回大会（千葉）
- ・ 神藤隆志、北濃成樹、永田康喜、中原雄一、鈴川一宏、永松俊哉（2022）男子高校生における学校運動部活動の早期離脱の関連要因．第23回日本健康支援学会年次学術大会（Web）
- ・ 藤本敏彦、永山貴洋、中原雄一（2022）コーチングを用いたソフトボールの授業の事例報告．第10回大学体育スポーツ研究フォーラム（オンライン）
- ・ 中原雄一、角田憲治、藤本敏彦、池田孝博（2021）コロナ禍に伴う緊急事態宣言下の身体活動促進の効果．第76回日本体力医学会大会（オンライン）
- ・ 中原雄一、池田孝博（2021）コロナ禍における大学新入生の歩数と精神的健康度の実態—2020年度と2021年度で相違はみられるのか—．九州体育・スポーツ学会第70回大会（オンライン）
- ・ Ikeda T, Nakahara Y. (2021) An investigation into the relationship between lifestyle, health status, mental stress and virus-fixed anxiety among university freshmen during the Covid-19 pandemic. 26th Annual Congress of the European College of Sports Science (Virtual Congress)

③過去の主要業績

- ・ 中原雄一、西脇雅人、藤本敏彦、池田孝博（2019）大学体育における実技と講義の同時受講が大学生の健康度・生活習慣に与える影響．大学体育スポーツ学研究, 16: 13-18.
※ 大学体育優秀論文賞 受賞
- ・ 中原（権藤）雄一、角田憲治、甲斐裕子、朽木勤、内田賢、永松俊哉（2016）勤労者における介護の有無と精神的健康度、身体活動量に関する検討．厚生指標, 63(5): 1-6.
※ 第18回川井記念賞 受賞
- ・ Gondoh Y., Tashiro M, Itoh M, Masud M, Sensui H, Watanuki S, Ishii K, Takekura H, Nagatomi R, Fujimoto T. (2009) Evaluation of individual skeletal muscle activity by glucose uptake during pedaling exercise at different workloads using positron emission tomography. J Appl Physiol. 107(2): 599-604.

3. 外部研究資金

- ・ 科研費 基盤研究 (C) (分担) 研究課題「幼児期における戸外の遊びと生活を促す仕組みと仕掛けに関する研究」交付金額 4,290 千円, 令和 4 年度～令和 8 年度.

4. 受賞

- ・ (公財) 全国大学体育連合 研修精励特別賞 (令和 6 年 3 月 4 日)

5. 所属学会

日本体力医学会 (評議員)、日本体育・スポーツ・健康学会、日本運動生理学会、日本発育発達学会、日本運動・スポーツ科学学会、日本健康学会、九州体育・スポーツ学会

6. 担当授業科目

<学 部> 健康科学実習Ⅰ・1単位・1年前期、健康スポーツ論・2単位・1年前期、教養演習・1単位・1年前期、健康科学実習Ⅱ・1単位・1年後期、子どもの保健・2単位・1年後期演習・2単位・3年通年、卒業論文・6単位、4年通年

<大学院> 特別研究Ⅰ・4 単位・1 年通年、子どもの身体教育研究・2 単位・1 年前期、教育課題研究 B・2 単位・1 年後期、子ども教育実践実習Ⅰ・1 単位・1 年後期、子ども身体教育演習・2 単位・1 年後期、特別研究Ⅱ・4 単位・2 年通年、地域教育課題演習・2 単位・2 年前期、子ども教育実践実習Ⅱ・1 単位・2 年前期、

7. 社会貢献活動

- ・ 福岡県香春町部活動地域移行検討委員会 委員
- ・ 九州地区大学体育連合 理事
- ・ 日本体力医学会北九州地方会 幹事
- ・ 第 78 回日本体力医学会大会組織委員会 組織委員
- ・ 学術論文の査読：大学体育スポーツ学研究

8. 学外講義・講演

- ・ 福岡県立西田川高等学校 出前講義「進路について考える～大学と短大・専門学校の違いとは?～」2023 年 5 月

9. 附属研究所の活動等

- ・ 令和 5 年度 データサイエンス研究：研究課題名「KDB システムのデータを活用した健診結果からみる子どもの健康とその課題」研究代表者 (研究分担者：池田孝博)
- ・ 令和 5 年度 附属研究所重点領域研究：研究課題名「子どもの最善の利益のための看護師と保育士の協働と連携に関する研究」研究分担者 (研究代表者：杉野寿子)